

LikePotの

「視点」と「支援」

- 支援プログラムの公表 -




児童福祉法の改正により、令和6年4月1日から
児童発達支援、放課後等デイサービスにおける**支援プログラムの公表**が義務化されました。
(事業所が提供する支援プログラムに後述する5領域が盛り込まれているかを公表するもの)

LikePotでは、開設当初より支援プログラムに5領域が盛り込まれていることを
当資料にて公表いたしますので、ご参照ください。

- ① LikePotの3つの役割 … 3
- ② 本人支援における5領域 … 4
- ③ LikePotで提供する具体的な支援 … 7



厚生労働省の『児童発達支援ガイドライン』にて
本人支援に求める5領域が定められている



私たちが求められる支援の役割として
「発達支援」「家族支援」「地域支援」
この3つが挙げられています

そして「発達支援」に含まれる「**本人支援**」では
次ページから説明する5領域を視点とし
支援を行います

私たちはガイドラインに定められる以下の**5領域全ての視点**をもとに支援を行います

健康・生活



- ・健康状態の維持改善
- ・生活リズムや生活習慣の形成
- ・基本的な生活スキルの獲得

運動・感覚



- ・姿勢と運動動作の向上
- ・姿勢と運動、動作の補助的手段の活用
- ・保有する感覚の統合的な活用

認知・行動



- ・認知の発達と行動の習得
- ・空間、時間、数等の概念形成の習得
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

言語 コミュニケーション

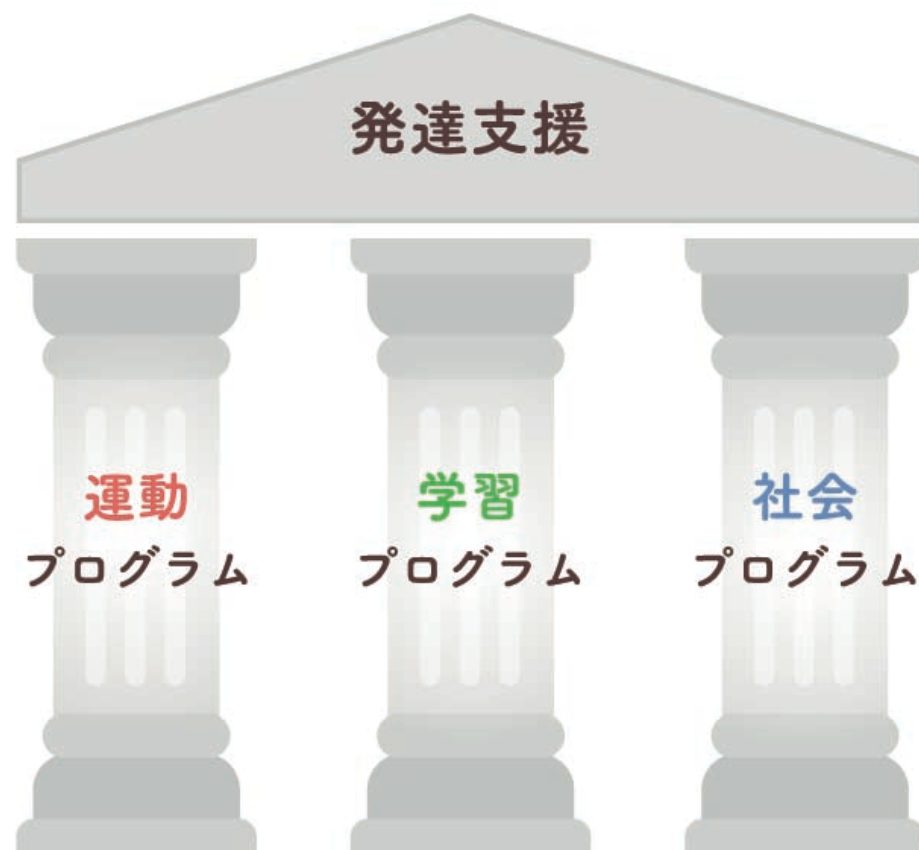


- ・言語の形成と活用
- ・言語の受容及び表出
- ・コミュニケーションの基礎的能力向上

人間関係 社会性



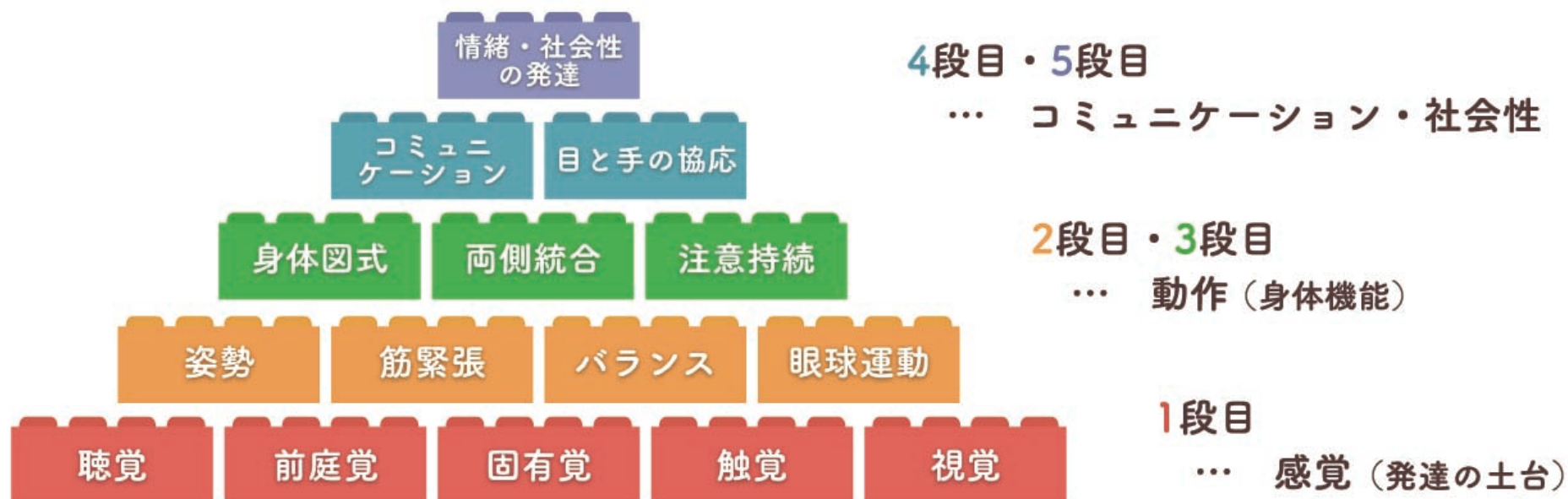
- ・他者との関わり（人間関係）の形成
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間づくりと集団への参加



LikePotでは5領域をふまえ
個々の障害特性や発達段階に応じた
「**運動学習型放課後等デイサービス**」として

これら3つのプログラムを軸に
発達支援を行っております

子どもたちの発達は**下から順に**積み上げられていき、社会性の発達につながっていきます



下の段階が不安定なまま積み上がってしまうと、情緒・社会性の発達が不安定になります



運動プログラム

サーキットメニューや運動遊びを通して
子どもの発達の土台である五感・前庭覚・固定受容覚を
育み、整える支援（感覚統合）を行います



姿勢や集中力など多くの課題解決はここが基本となります

学習プログラム

まずは環境を大事に
本人がしっかり取り組めるようにスケジュールを『見える化』
場所を『個室化』するなど構造を整えます



個別のプリントや自立課題など
個々に応じたプログラムを準備しています

社会プログラム

LST(ライフスキルトレーニング)やSST(ソーシャルスキルズトレーニング)をベースに
お買い物や調理の練習など、事業所内外の活動を通して
生活上に必要なスキル獲得を支援します




様々な行事や家族参加型のイベントなども行っています

移行支援



インクルージョン（地域社会への参加・包括）の考えのもと、障害の有無にかかわらず、子どもたちが住み慣れた地域やライフステージに応じた移行の準備、併行利用先や学校などでの生活や支援が充実できるようサポートいたします



具体的な支援の内容

- 移行、併用先との支援内容等の共有
- 子どもの情報、家族の意向等について移行、併用先への伝達
- 併行通園、併行利用時の利用日数や時間等の調整
- 移行先の受け入れ体制づくりの協力

家族支援

障害のある子どもを育てる家族に対して、障害の特性に配慮し子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に「家族支援」を行います



具体的な支援の内容

- 子どもの発達上の課題についての気づきの共有と支援
- 相談支援専門員との知己的な支援会議や支援計画の調整
- 関係者、関係機関の連携や橋渡し
- ファミラボなどによる家族支援プログラムの実施
- 兄弟姉妹等の相談や支援

地域支援

障害のある子どもの地域社会への参加・インクルージョンを推進するため、保育所や学校など関係機関との連携を行い地域の子育て環境や支援体制の構築を進めます



具体的な支援の内容

- 保育所や学校など関係機関との連携
- 医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携
- 自立支援協議会などへの参加
- WarmBlueKurumeなどの共催やお母さん業界新聞など各団体との連携による理解促進のための活動の実施